ご使用方法 No.2　Genus（ジーナス）シリーズ　高性能ベースレジン GM-1508

作業手順	作業方法・注意事項
使用量の決定	1 体積の積算をしてから･･･体積 (aa.a)cc × 比重 [GM-1508=1.1]=(AA.A)g 2 使用する重さ(g)を決めた場合･･･ 例) 正確に使用量の算出したい場合･GM-1508 GM-1508を総混合量=(AA.A)gとしたい場合は 主剤の使用量(R)g =(AA.A)g÷(R+H)×R 硬化剤の使用量(H)g=(AA.A)g÷(R+H)×H 混合量=10.0gでは 主剤=(10.0)g÷(140)×100=7.14g 硬化剤=(10.0)g÷(140)×40 =2.86g 混合量=50.0gでは 主剤=(50.0)g÷(140)×100=35.7g 硬化剤=(50.0)g÷(140)×40 =14.3g
使用量の目安	コンクリート (0.2t) 200g/m² 木(杉) 無処理 50〜60g/m² 木(杉)ステイン処理 30〜50g/m² 発泡スチロール 1回 200g/m² 2回 100g/m² カネライトフォーム 1回 200g/m² （ヘラ、コテ塗り） GM-1508 ガラスクロス 20〜40部／80〜60部 マイクロバルーン 30〜40部／70〜60部 硅砂 5〜10倍 100〜50部／10部
配合比 主剤：100 硬化剤：40 軽量 主剤=1.0g以上 硬化剤=0.4g以上 で計量して お使い下さい。	• 電子天秤(0.01から1.0g計量可能なもの)にて、主剤、硬化剤を正確に取り出します。 • 最初に主剤を計量し、次に硬化剤をつぎ足し、計量します。 • ***硬化剤は多めにしないこと！ 硬くなりません。性能も低下します。*** GM-1508の場合(主剤/硬化剤=100/40 重量比) 例1) 紙コップを天秤に乗せ、風袋0合わせ 主剤を10.2g計量し、風袋0合わせ 硬化剤は10.2÷2.5 =4.08g計量。 或いは 10.2×0.4=4.08g計量。 例2) 紙コップを天秤に乗せ、風袋0合わせ 主剤を10.2g計量し、そのままで 硬化剤は10.2×1.4=14.28gとなるまで、追加計量する。
混合 塗布	• すばやく1〜2分で混ぜます。紙コップや混合容器のすみに、混ぜ残しのないよう注意して下さい。 • ヘラ、竹へら、パテヘラ、洋食用ナイフ、ゴムヘラなどで、塗布して下さい。
硬化 硬化するとわずかに白濁した柔軟性のある皮膜となります	• 常温(23℃)では、混合後、10分程度の間は流動性があり、塗布・充填配合など出来ます。この間を過ぎると急激に固化が始まります。 硬化すると、わずかに白濁した靭性のある皮膜になります。ガソリンタンクなどの内面コーティングでは、常温硬化させ、加熱処理（50〜60℃-3時間以上）をして皮膜を完全に硬化させて下さい。 • 硬化の速さは **硬化が速い条件** 混合量が多い 温度が高い(50℃以上はNG) 厚みが厚い 熱が伝わりにくいものへの塗布 **硬化が遅い条件** 混合量が少ない 温度が低い(5℃以下はNG) 厚みが薄い 熱が伝わりやすいものへの塗布
加工	• 機械加工(ヤスリがけ、フライス、研磨、旋盤等)はできますが、放電加工・ワイヤーカットは出来ません。

ご注意	先進エポキシ樹脂 / Genusジーナス / 構造用次世代金属接着剤〜緊急修理剤
• ご使用後は、冷暗所にて保管して下さい。 • 皮膚や手などについた場合は、石鹸で充分に水洗いを行って下さい。 • カブレ、アレルギーなどのある場合、使用しないで下さい。 • 製品の目的用途以外には使用しないで下さい。	● 金属補修剤シリーズ･･GM-8300、GM-8500etc ● 鉄、アルミ、非鉄用接着剤シリーズ･･GM-5520、GM-5530 ● 透明エポキシ樹脂シリーズ･･GM-9002、9003etc、専用着色剤 ● 高性能FRP用エポキシ樹脂シリーズ･･GM-6600、GM-6800、精密ゲルコートetc ● 離型剤・アクセサリー製品、各種着色剤・光拡散剤 ● カラーエポ倶楽部

最新情報はホームページでご案内しています。 どんぐりコロコロ GM-1508 検索
http://www.blenny.co.jp/ http://blenny.ddo.jp/ http://blenny.info/ http://blenny2.info/ http://www.エポキシEpoxy.com/ http://www.カラーエポ倶楽部.com/